

令和5年第1回（2月）定例会 一般質問通告表

順	質 問 事 項	質 問 者
1	<p>1 大雪災害と寒波に伴う水道被害について</p> <p>(1) 大雪災害の教訓と今後の対応はどうか。特に市民からの要望で、災害時に携帯電話で情報が把握できるようにすべきではないか</p> <p>(2) 竹林などの整備対策はどうするのか。公道沿線等の竹林伐採及び竹を有効活用する公共事業を早急に立ち上げるべきではないか</p> <p>(3) 寒波に伴う水道被害状況と断水などの対応について</p> <p>(4) 5年前の漏水災害対応では水道料金の負担軽減、見舞金、水道管凍結防止対策などが実施された。今回、市民からの問合せや要望含め、対応、対策はどうか</p> <p>2 補聴器助成について</p> <p>県内全30市町村で助成が実施される方向である。佐渡市から市長会などで、新潟県に補聴器助成制度の設置を求めるべきではないか</p> <p>3 「住宅リフォーム支援事業補助金」、「快適な生活応援事業補助金」を実施すべき</p> <p>(1) 各事業の実施後の経済効果及び経済波及効果について</p> <p>(2) 市民要望から今後も継続して経済対策として両事業を実施すべきではないか</p> <p>4 学校給食費の無償化を今すぐ実施すべき</p> <p>憲法第26条は義務教育の無償化を定めている。子育て支援、保護者の経済的負担軽減から学校給食費の無償化を今すぐ実施すべきではないか。いつ頃実施予定なのか</p> <p>5 就学援助制度の活用について</p> <p>(1) 生活保護基準が引き下げられている。制度の適用基準を上げるべきではないか</p> <p>(2) さらに周知の徹底をすべきではないか</p> <p>6 目指せ「健康寿命日本一」に向けた健康づくりサービスになっているかについて</p> <p>結核・肺がん検診（胸部レントゲン）の検診状況（全地区・両津地区の地区別）について</p> <p>7 持続可能な農林漁業について</p> <p>小規模・家族農林漁業について、どのような政策で進めていくのか</p> <p>8 「緊急防災・減災事業債」5,000億円（充当率100%）について</p> <p>国は体育館のエアコン設置にも使えるよう対象を拡大した。対応すべきではないか</p>	中村良夫
2	<p>1 大雪による災害について</p> <p>大雪により休園した保育園等や休校した小・中学校への対応と今後の課題は何か</p> <p>(1) 所管部は現場に寄り添った対応、支援はできたか</p> <p>(2) 今後の課題と解決するための取組をどのように考えているか</p> <p>(3) 電話が利用できない緊急時の連絡体制をどのように考えているか</p> <p>(4) 大雪時のスクールバス・保育園バスの運行管理をどのように考えているか</p> <p>2 子どもたちの放課後について</p> <p>(1) 令和4年4月1日時点の学童保育待機者数は70人だったが、どのくらい解消できたか</p> <p>(2) 現時点で来年度の学童保育待機者見込数は何人か</p> <p>(3) 今年度の放課後デイサービスの利用実績と課題は何か</p> <p>3 デジタル化に向けてのインターネット環境整備について</p> <p>(1) 各庁舎内、各消防署内で職員が利用できるインターネット環境はどのようになっているか</p> <p>(2) インターネット環境整備の課題と解決するための取組をどのように考えているか</p> <p>4 公務員の副業について</p> <p>令和4年12月定例会で、公務員の副業について検討するとの答弁があったが、その後の状況はどうなっているか</p> <p>5 図書館の利用拡充とWi-Fi環境整備について</p> <p>(1) 図書館の開館時間延長はどのような検討がされたか</p> <p>(2) 令和5年度において図書館のWi-Fi環境整備はどのように進めていくか</p>	平田和太龍

順	質 問 事 項	質 問 者
3	<p>◎ 佐渡ヶ島（SDG s）集落ツーリズム構想の実現に向けて 【しごとづくり】【ひとづくり】【まちづくり】の計画に関する確認と提案</p> <p>(1) 拉致問題等啓発推進条例（仮）の制定について</p> <p>(2) 持続可能な財政運営について</p> <p>① 当初予算 512.2 億円の増額の要因と持続可能性は</p> <p>② 新ポスト財務部長の役割とは</p> <p>(3) 地域循環共生圏・脱炭素先行地域について</p> <p>① 地域循環共生圏の創造による持続可能な島づくり推進条例の詳細は</p> <p>② 地域循環共生圏を生かした観光地域づくりとは</p> <p>③ デジタル田園都市国家構想との連動は</p> <p>(4) 防災減災・国土強靱化対策について</p> <p>① 停電の傾向と対策は</p> <p>② 断水の傾向と対策は</p> <p>③ 植えない森づくり、里山資本主義的ライフスタイルの推奨を</p> <p>④ ウッドサイクル事業の推進、「木（もく）の島づくり」へ</p>	室岡啓史
4	<p>1 佐渡市における防災等の危機管理体制について</p> <p>(1) 昨年 12 月の雪害、停電対策における市としての総括はどうか</p> <p>(2) 水道管凍結、断水対策についてはどうか</p> <p>(3) 今後の課題とその対策は何か</p> <p>2 アフターコロナに向けた政策について</p> <p>(1) 通常観光の再開に向けた政策は何か</p> <p>(2) 光通信網等、インフラの整備状況はどうか</p> <p>(3) 歴史、文化、芸能に対する振興策は何か</p> <p>3 佐渡製品の販売拡大策と高付加価値化について</p> <p>(1) 過去の成果と現在の課題について、どう分析しているか</p> <p>(2) 行政として行えるさらなる販路拡大策は何と考えるか</p> <p>(3) 6次産業化という言葉だけが先行していないか。市の認識は</p> <p>(4) 行政の支援策は何か</p>	林 純一
5	<p>1 令和 4 年 12 月の暴風雪災害をはじめとする各種災害対応について問う</p> <p>(1) 地域で暮らす誰もが災害時の支援からこぼれ落ちないための防災と福祉の連携について</p> <p>① 災害時の避難行動要支援者への個別避難計画作成について</p> <p>② 障害があっても障害福祉サービス等につながらずに生活をしている「潜在的な要支援者」の佐渡市における把握と対応、災害時の個別計画作成について</p> <p>(2) 暴風雪、台風等による大規模停電防止や生活道路確保に向けた竹・立木の予防伐採について、どのように取り組むか</p> <p>2 佐渡市の消費税適格請求書等保存方式(インボイス制度)対応について問う</p> <p>(1) 佐渡市が売り手となり、事業者に対して課税取引(資産の譲渡や貸付、役務の提供)を行う場合、佐渡市がインボイスを発行しなければ、事業者は消費税の仕入控除を受けることができない。佐渡市の消費税適格請求書等保存方式(インボイス制度)の対応はどうなっているか</p> <p>① 上下水道事業における業務委託事業者数は幾つか。また、このうち消費税適格請求書等保存方式(インボイス制度)未対応の事業者数は幾つか</p> <p>② 上下水道事業において、公共事業参加資格で消費税適格請求書等保存方式(インボイス制度)未対応の事業者との取引はどのようにするか</p> <p>③ 学校給食センター会計について、影響はあるか</p> <p>(2) 佐渡市が業務委託する佐渡市シルバー人材センターが業務を紹介する会員の消費税適格請求書等保存方式(インボイス制度)対応について</p> <p>3 みどりの食料システム戦略推進事業における保育園・小中学校での食農授業・環境教育について問う</p> <p>(1) 無農薬無化学肥料米をはじめとするオーガニック農産物による学校給食の食材提</p>	佐藤 定

順	質 問 事 項	質 問 者
5	<p>供の取組、具体化策は</p> <p>(2) 食農授業・環境教育の具体的な取組はどのようなことを予定しているか</p> <p>4 佐渡の酪農・畜産の灯りを消さない取組について</p> <p>ロシアのウクライナ侵攻による世界的な穀物不足や異常な円安により、飼料価格は2倍以上に高騰する一方、コロナ禍による需要減で乳価は暴落したままになっている</p> <p>政府の支援策は、高騰分の全額補填や乳価引上げなどでは不十分で、経営を続けていくことが困難な状況である</p> <p>(1) 特に厳しい酪農家に対し、購入飼料、稲発酵粗飼料（WC S）や飼料用米購入に対し助成できないか</p> <p>(2) 畜産における地域内循環システム構築による粗飼料生産(乾燥牧草、デントコーン等)について生産者団体と協議し、この春から取り組めないか</p>	佐藤 定
6	<p>1 大雪災害の検証について</p> <p>(1) 警戒本部から対策本部への切替えはスムーズだったのか。また、課題は何か</p> <p>(2) 竹林や森林の管理を強化する仕組みが必要であるが、その方針について</p> <p>(3) 東北電力やNTT等の連携について</p> <p>(4) 情報伝達の方法をどう見直していくのか</p> <p>(5) 農道・林道の復旧対策について</p> <p>(6) 災害救助法の適用の範囲</p> <p>(7) 地域防災計画の見直しについて</p> <p>2 改正離島振興法について</p> <p>(1) 今回の改正のポイントは何か</p> <p>(2) 離島ならではの「交通・通信の確保」、「第1次産業の振興」、「離島活性化交付金制度の拡充」、「ライフラインに対する支援策」、「医療・介護サービスの確保」等を離島振興計画に明記できているのか</p> <p>3 施政方針について</p> <p>(1) 人口減少対策としての施策の実績</p> <p>(2) 総合福祉相談支援センターの体制と専門職の内容</p> <p>(3) 佐渡地域医療・介護・福祉提供体制協議会との課題解決に向けた進捗状況</p> <p>(4) 今年度の病床機能再編支援事業費給付金の活用の取組</p> <p>(5) 2023年度に県が第8次医療計画を策定するが、市ではどのような議論が進められているのか</p> <p>(6) 在宅医療支援について、デジタル田園都市構想推進交付金の活用</p> <p>(7) 県のモデルとなった遠隔診療の取組</p> <p>(8) 防災力の向上について、避難所の運営に向けて集落センター等の設備や機能強化に取り組む内容</p> <p>(9) 林業振興について、アドバイザー等の活用を含め、どのような体制づくりをしていくのか</p> <p>4 観光戦略について</p> <p>(1) 国、県、市の様々なキャンペーンの効果について</p> <p>(2) おもてなし人材の活用について</p> <p>(3) 観光デジタル化推進事業でどのような活用を考えているのか</p> <p>(4) 佐渡市東京事務所の実態と今後の活用</p> <p>(5) コロナ感染症の減少を見据えた観光戦略とインバウンド対策</p> <p>5 佐渡汽船</p> <p>(1) 収益の決算状況</p> <p>(2) 貨物運賃値上げに対する支援策</p>	駒形 信雄
7	<p>1 子育て支援について</p> <p>(1) 妊娠、出産、子育て等の相談支援体制の強化について</p> <p>(2) 地域全体で支える取組について</p> <p>2 学校教育について</p> <p>(1) 文部科学省が昨年12月に公表した調査では、学習面や行動面に著しい困難を抱え</p>	上杉 育子

順	質 問 事 項	質 問 者
7	<p>ているとされた児童生徒が10年前よりも増えていると言われているが、佐渡市の現状を問う</p> <p>(2) 学習面や行動面に著しい困難を抱えている児童生徒は、いじめや不登校につながるとも言われており、早期発見、早期対応が重要視されている。佐渡市の早期発見、早期対応はどのような仕組みになっているか</p> <p>(3) 学校現場における支援員・介助員・教員不足の現状と対応について</p> <p>(4) コミュニティースクールの現状と課題について</p> <p>3 防災力の向上から安心安全の地域づくりについて</p> <p>(1) 森林整備計画の見直しと中長期的な森林ビジョンの検討について</p> <p>(2) 竹林等里山の管理体制について</p> <p>(3) 自主防災組織の強化について</p> <p>(4) 地域防災リーダーの育成について</p>	上 杉 育 子
8	<p>1 市長見解を問う</p> <p>平和憲法の下で国は、これまで守ってきた「専守防衛」を投げ捨て、敵基地攻撃能力を保有し、そのために軍事費を5年間で43兆円に増やす大軍拡に突き進むという大転換の方向である。また、原発についても福島原発事故以来、政府自らが「可能な限り原発依存度を低減する」としてきた立場を大転換する。どちらも佐渡市民や地方政治にとって、平和や暮らし、安全安心に与える影響は大きなものだが、市長の見解を問う</p> <p>2 新年度予算について</p> <p>(1) 新年度予算は「コロナからの再生」を大きく掲げているが、佐渡の地域経済や市民の暮らしは極めて深刻な状況である。地域経済や市民の暮らしを最優先する新年度予算が求められるが、どのような対策が立てられているのか</p> <p>(2) 地方自治法の「地方公共団体は、住民の福祉の増進を図ることを基本」が市行政の本文だが、子育て、高齢化に伴う切実な課題はなおざりになっていないか</p> <p>(3) 歳出削減の取組の一環での『市民参加型の「公共施設あり方検討会議」』は、従来型の行政の意向を反映する削減ありきの検討会になるのではないか</p> <p>(4) 集落自治機能等に着眼した「地域コミュニティ交付金」の新年度版は、どのような拡充がなされているのか</p> <p>(5) 「歴史文化継承社会に向けた地域づくり」の取組はどのようなものか</p> <p>3 昨年12月下旬の大雪災害について</p> <p>停電、倒木・倒竹、孤立集落の発生で、特に本庁と支所・行政サービスセンターとの連携、及び各集落との連携、情報伝達に問題を残したのではないかと。どう総括しているか。また、道路への倒木・倒竹を防ぐには、通常時の維持管理が不可欠ではないか</p> <p>4 新潟県との行政関係について</p> <p>(1) 佐渡航路について</p> <p>① こがね丸導入への行政支援を決めた経過と、県との協議で改正離島振興法が貫かれたか</p> <p>② 今後の行政支援はどうなるのか</p> <p>③ 貨物運賃値上げによる島内経済への影響</p> <p>(2) 佐渡空港について</p> <p>新潟県知事の来年度の施政方針は、佐渡空港について全く触れていないが、どのような状況か</p> <p>(3) 市立病院建設への行政支援</p> <p>2008年の佐渡市議会の「地域医療体制検討特別委員会」では、中核病院への県支援の在り方が問題視されていた。過去の経緯からみても今回の市立病院建設への県の行政支援はどうなったのか</p>	中 川 直 美
9	<p>1 12月大雪災害の対応について問う</p> <p>(1) 「10年に一度の大雪になる」との天気予報が出ていながら10日余り停電が続くという大災害になってしまった原因はどこにあると考えるか</p> <p>(2) 人口が減少する佐渡で、電気、電話、ケーブルテレビの施設を守ることはますます困難になると思われるが、今後の災害から守る対策はあるか</p>	中 川 健 二

順	質 問 事 項	質 問 者
9	<p>(3) 倒竹・倒木が復旧の妨げとなった今回の災害を再び起こさないためには、今後どのようにすべきと考えるか</p> <p>2 小木半島の観光資源について問う</p> <p>(1) 小木半島は海から見ても陸から見ても観光資源として有望で、現在も宿根木を中心とした観光が進んではいるが、まだまだ開発の余地はあると思われる。今後どのような開発を考えているのか</p> <p>(2) 小木半島の魅力を増すためには佐渡一周線の整備が急がれるが、現在の進捗状況を問う</p> <p>3 小木一直江津航路の安定を求めて</p> <p>(1) 4代目「こがね丸」の就航は佐渡市にとっては大変有益なことだが、当初3月末の就航を予定していたのが4月29日に変更になったことは、3月末で予定を進めていた利用客は当てが外れてしまったことになる。対象者への対策は考えているか</p> <p>(2) 北陸新幹線の敦賀延伸が予定されているが、「こがね丸」の利用客を増やすための誘客対策は考えているか</p> <p>4 人口減少させないために何をすべきと考えるか</p> <p>(1) 人口を増やすためには子育て世代の若い人を増やすことが大切だが、そのための対策は考えているか</p> <p>(2) 佐渡の子供たちの卒業後の進路は、おおむね島外への進学となるが、佐渡で一生暮らせる環境をつくるべきではないか</p> <p>5 農業で収益を上げるための果樹栽培はどのように進めていくか</p> <p>(1) 果樹の販売で、現在は「おけさ柿」が売上げの上位であるが、生産者が高齢化している現状で、今後どのようにして産地の維持をしていくか</p> <p>(2) おけさ柿以外での産地化は進んでいるか</p> <p>6 脱炭素先行地域としての佐渡市の今後を問う</p> <p>(1) 脱炭素先行地域のバイオマス発電が2026年から開始されることになっているが、現在の進捗状況はどうなっているか</p> <p>(2) MS関東甲信越株式会社及び三井住友海上火災保険株式会社と脱炭素推進に関する連携協定を結んだとあるが、今後は両社に何を求めていくのか</p>	中川 健二
10	<p>1 改正離島振興法</p> <p>(1) 県による離島市町村への支援努力義務化</p> <p>① 期待されることは</p> <p>② 防災減災対策について</p> <p>(2) 遠隔医療の普及促進について</p> <p>① 進捗状況は</p> <p>② モデル事業は</p> <p>(3) 通信体制の充実</p> <p>① 他地域との格差是正をいかに進めるか</p> <p>② 島民生活の利便性向上をどう担保するか</p> <p>(4) 障がい者福祉や子育て支援の配慮規定により、期待されることは何か</p> <p>2 医療的ケア児とその家族への支援</p> <p>(1) 「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」に対する市の取組について</p> <p>(2) 医療的ケア児等コーディネーターの配置について</p> <p>(3) 医療的ケア児とその家族に対する助成事業を新設すべきではないか</p> <p>(4) ピアサポートの設立支援について</p> <p>3 子育て政策</p> <p>(1) 佐渡市子育て拠点施設・さわた図書館基本構想について</p> <p>① エリアとしての面的機能をどのように捉えているか</p> <p>② 市の図書館ビジョンにおける位置付けは</p> <p>③ 図書館の情報化・電子図書館機能の検討について</p> <p>(2) 学童保育について</p>	後藤 勇典

順	質 問 事 項	質 問 者
10	① 待機児童解消に向けた取組は ② 支援員の処遇改善及びキャリアアップ策について市の考えは	後藤 勇典
11	1 職員のタイムカードを上司が操作していないか 2 時間が空いている職員が使えるパソコン・ソフトを増やすことで、残業時間は減らないか 3 体育館、公民館等の施設使用料金を上げて、修繕費等に充てられないか 4 公衆トイレの管理、設置箇所数は適切か 5 介護者の相談窓口数は適切か 6 市が主催して、市民を対象に草刈り機・チェーンソー等の技能講習、特別教育ができないか	山本 健二
12	1 新型コロナウイルス感染症について (1) 現在の市内の状況はどうか (2) 5類への移行を受けて、市の方針や今後の対応はどうか (3) コロナ後へ向けた経済対策をどのように考えているか 2 航路問題について (1) 新潟県と上越市との協議について (2) 小木ー直江津航路の運行について 3 観光について (1) コロナが5類へ移行することによる観光戦略について (2) インバウンド戦略について 4 12月18日以降の雪害について (1) 反省点と、今後の改善点をどのように捉えているか (2) 情報、通信手段の強化について (3) 年度末までに、倒木、倒竹の処理が間に合わない場合、来年度の対応はどうか (4) 防災意識の向上のための取組について 5 教育について (1) 佐渡市小・中学校再編統合計画により廃校となる校舎を活用し、不登校特例校を設置すべきと考えるが、どうか (2) 緊急時の学校や保護者への連絡手段について (3) 山本悌二郎氏はじめ、佐渡の偉人たちの教育について 6 移住について (1) 社会減ゼロを目指している渡辺市政だが、現在の状況は今までと比べて効果が出ているか (2) 地域とのトラブル対応について (3) 空き家バンクの情報整理、管理について	北 啓
13	◎ 人が人らしく生きられる佐渡を子どもたちに喜んで渡すために質問をする 1 持続可能な行政運営について 限られた職員人材の中で質の高い行政サービスを行うために効率的で機能的な組織体制を構築するとしていることについて問う (1) ハラスメント防止及び対応について 全ての職員が気持ちよく働いていることが市民にとっての希望であり、期待するところである ① ハラスメント相談件数は全て把握しているか。どのように推移しているか ② どの種類のハラスメントが多いか。なぜ起きるのか、分析、評価しているか ③ 適切な相談体制になっているか ④ 相談事案は解決に至っているか。それをどのように確認しているか ⑤ ハラスメント防止マニュアルのセルフチェック項目を新たに見直しをかける必要があると思われるが、どうか ⑥ 人間関係とコミュニケーション研修が必要ではないか (2) さわた図書館整備計画について	荒井 眞理

順	質 問 事 項	質 問 者
13	<p>1月31日に開催された「佐渡市子育て拠点施設・さわた図書館に関する説明会」は図書館整備が半減した説明で、図書館利用者には大きな戸惑いが起こった。</p> <p>① なぜ事業計画が短期間で急転換したのか。事業計画策定に根本的な問題があるのではないか</p> <p>② 市民のニーズ（必要）を中心とした計画づくりになっているのか</p> <p>③ 図書館機能が拡充することを柱に、子どもたちが利用しやすい図書館整備にすべきではないか</p> <p>(3) P D C Aに基づいた計画策定について</p> <p>① デジタル化、オンライン化を進める以前に、P D C Aに基づいた計画立案が的確にできることが基本ではないか。現状をどう評価しているのか</p> <p>② 新年度の事業はP D C Aに基づいて立案されているか</p> <p>2 佐渡市財政計画について</p> <p>(1) 2022年度をどう評価しているか</p> <p>(2) 2023年度を迎えるに当たりどう見直したか</p> <p>(3) 佐渡市が何を大事にしているか分かりやすいように、市民目線で分かりやすい予算の見せ方に変えてはどうか</p> <p>3 環境美化運動推進と防災の取組について</p> <p>12月の大雪による倒木、倒竹による被害を教訓に今後の対策をどう考えているか</p> <p>4 島外への避難計画について</p> <p>(1) 有事の際の避難計画はどうなっているか</p> <p>(2) 原発事故の際の避難計画はどうなっているか</p> <p>5 学校教育について</p> <p>(1) 各学校が実施している児童生徒と保護者アンケートはどのように生かされているか</p> <p>(2) コロナ禍明けのリカバーをどう考えているか</p> <p>(3) タブレットの家庭への持込みによる問題への対応策はあるか</p>	荒井 眞理